

はじめに

このたびは、弊社のP型1級表示機（部屋番号表示付）をご採用いただき、まことにありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。
なお、この説明書は大切に保管してください。

本書の読み方

ここでは本書の使い方や、本書で使用する警告表示やマークの意味などについて説明しています。

本書の構成と使い方

本書は表示機の施工・運用について、対象者別に分けて説明しています。
必要な箇所をお読みください。

- 施工編** … 表示機の施工を行う方が対象です。
準備・設定方法などについて説明しています。
- 運用編** … 表示機の操作を行う方が対象です。
取り扱い方法などについて説明しています。

警告表示について

警告表示は、警告文と警告レベルを表す記号の組み合わせで表示されます。

■警告文

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。 また、防災機能を長期にわたって有効に活用する上で、ぜひ守ってほしい事項について示しています。

■記号

⚠	危険・警告・注意を促す内容があることを示しています。
🚫	禁止内容を示しています。
❗	行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、本機を正しくお使いください。

万一、異常が発生したら

警告	機器が故障したときは、すみやかに保守点検先に連絡してください。故障を放置すると正常に機能しません。
警告	保守点検者以外は本機内部に手を触れないでください。感電・故障のおそれがあります。

本機の設置、取り扱いについて

警告	通常は音響を停止しないでください。火災時に警報音がでないため、避難・消火活動が遅れるおそれがあります。
注意	機器は必ず手で操作してください。手以外では確実な操作ができず、機器を破壊するおそれがあります。
注意	機器の正しい取り扱いを理解し、緊急時の使用に備えてください。緊急時の対応が容易になります。
注意	機器はその重量に十分耐えるよう強固に取り付けてください。強固に取り付けなかった場合、脱落を引き起こし、けがの原因になります。
注意	キャビネットに直接穴をあける場合は、切りくずが回路部に入りこまないよう、十分注意してください。ショートや故障の原因となります。
注意	固定設定のスイッチは設定を変更しないでください。設定を変更すると、表示機が正常に動作しません。
注意	機器保護用のビニールシートは輸送時の保護用です。搬入後には速やかにはがしてください。はがさない場合、塗膜劣化の原因となるおそれがあります。

施工編

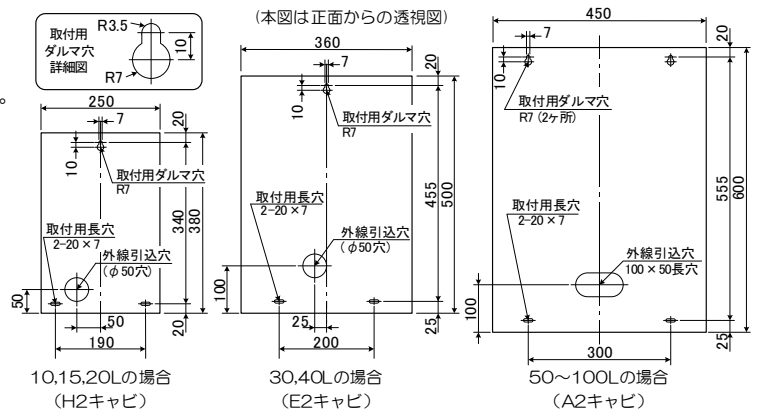
ここでは表示機の設置、設定などについて説明しています。

設置場所

故障や誤動作を防ぐため、以下の場所に設置してください。

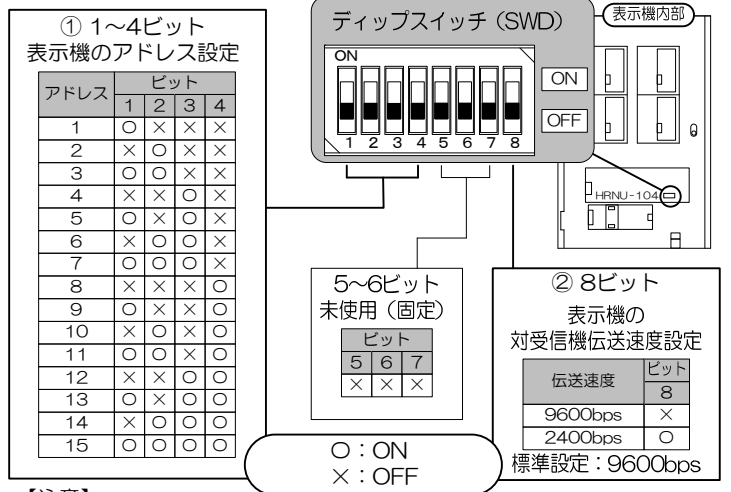
- 直射日光の当たらないところ、暖房やボイラーなどから熱風が直接当たらないところ。
- 水滴、蒸気、ほこり、腐食性ガスなどがかからないところ。
- 振動の少ないところ。
- 周囲に操作上支障となる障害物のないところ。
- 常に人がいて、表示機の状態が確かめられるところ。
- 周囲の温度が0℃～40℃、湿度が20～80%(RH)で結露しないところ。
- 水平に取り付けられるところ。

取り付け寸法



電源を入れる前に必要な準備

表示機内部（扉裏面）のディップスイッチ（SWD）で、下記①②の設定を行います。表を参照して間違いのないように設定してください。



【注意】

表示機のアドレスは空き番号がないように設定してください。
空きアドレスがあると受信機で異常表示します。

表示機と受信機の接続方法

裏面の回路図・接続図を参照してください。

なお、最終アドレスとなる場合、ITXA、ITXB端子間に120Ω、1/2Wの終端抵抗（付属品）を取り付けてください。

【注意】

- ・本機は最大で15台接続することができます。
- ・受信機からの電源供給には条件があり、別電源を必要とする場合がありますので、受信機の施工説明書を参照してください。

受信機側の設定

受信機側にて、以下の設定を行ってください。

- 表示機接続台数の設定（データベース設定）
- 対表示機伝送速度の設定（データベース設定）

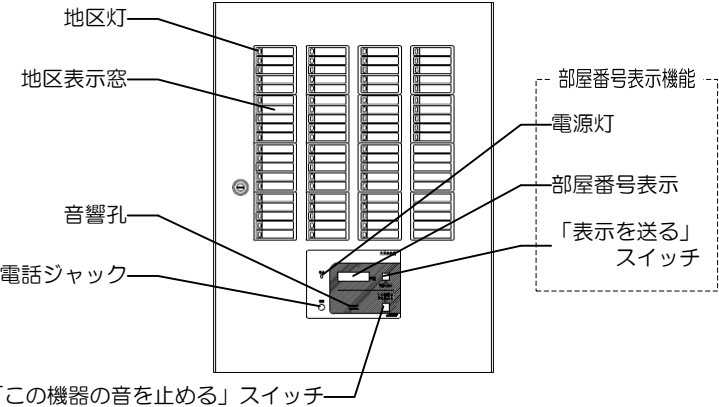
その他

地区表示窓の板の取り付け・取り外し方法については、受信機の施工説明書を参照してください。

運用編

ここでは表示機の操作方法などについて説明しています。

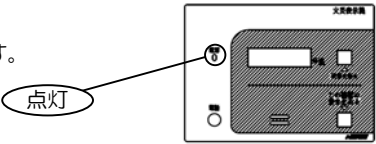
各部の名称



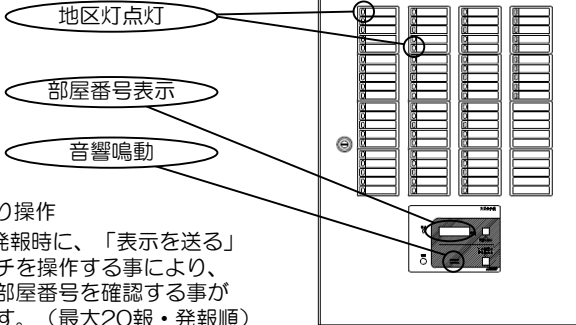
押すと音響鳴動が停止しスイッチ内照灯が点灯します。
ロック式スイッチのため、押したままにすると
連続停止（鳴動停止状態）します。

取り扱い方法

- 監視時
電源灯（青緑）が点灯します。

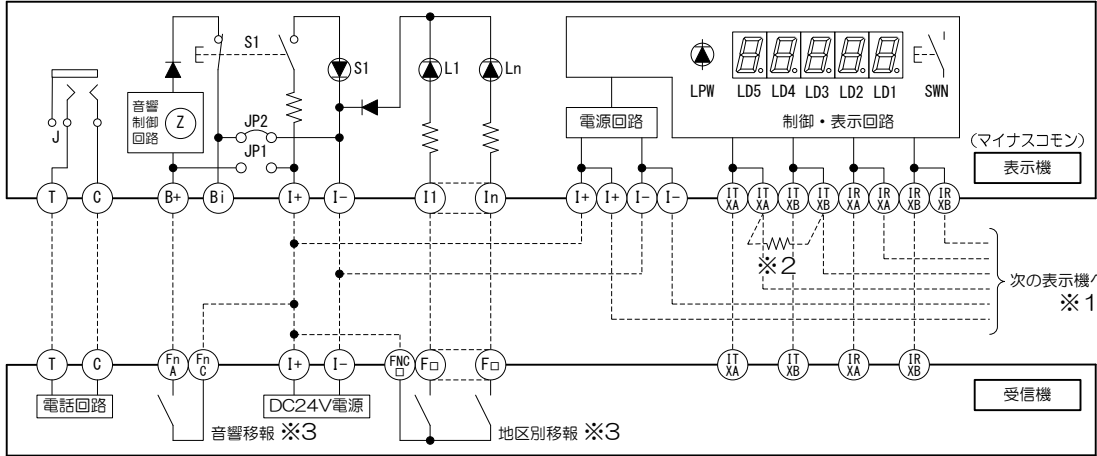


- 火災時（部屋番号が設定されている回線/感知器の火災発報時）
〔1報目発報時〕地区灯点灯、音響鳴動、部屋番号表示を行います。
〔2報目発報時〕地区灯が点灯します。



- 表示送り操作
2報目発報時に、「表示を送る」
スイッチを操作する事により、
後続の部屋番号を確認する事が
できます。（最大20報・発報順）

回路図・接続図



S1	この機器の音を止めるスイッチ (スイッチ内照灯)
J	電話ジャック
Z	音響ブザー
L1-n	地区灯
JP1・2	ジャンパーピン
LPW	電源灯
LD1-5	部屋番号表示
SWN	表示を送るスイッチ

- ※1：
複数台接続時は送り配線とする。
(分岐配線不可)
- ※2：
末端の表示機に、終端抵抗
(120Ω、1/2W) を接続する。
- ※3：
受信機のデータベース設定にて、
表示機の音響・地区別移報を
設定してください。

・本図は、受信機 FAPJ/FCSJ104Sシリーズとの接続例です。
・JP2にジャンパーピン設定し、JP1は解放状態にしてください。この設定以外にはしないでください。正常に機能しません。

適用電線

適用電線範囲はφ0.65mm～1.6mmの単線です。
これ以外の電線は使用できません。
また、端子1つに対し、差し込める電線は1本です。
2本以上差し込む場合は、スリーブや中継端子などで
電線をまとめてから1本にして差し込んでください。

- 差し込み端子の接続
①電線の被覆を8mmむきます。
②電線の被覆をむいた部分が見えなくなるまで端子に
差し込み、引いて抜けない事を確かめます。
- 差し込み端子のとりはずし
電線をはずすときは、差し込み端子の上部にある
ボタンをマイナスドライバーなどで押しながら、
電線を引き抜いてください。
 - ・推奨適合工具
マイナスドライバー（呼び4.5×50mm）

仕様

種 別	P型1級表示機（部屋番号表示付）		
型 名	FIPJ104-H2-10L～20L	FIPJ104-E2-30L・40L	FIPJ104-A2-50L～100L
回 線 数	10,15,20	30,40	50,60,70,80,90,100
構 造	露出・壁掛型		
地 区 灯	赤色発光ダイオード（DC24V,2mA）		
部 屋 番 号 表 示	赤色7セグメント 5桁,1窓		
主 音 響 装 置	電子ブザー内蔵（DC24V,15mA）		
環 境 条 件	使用温度範囲：0℃～40℃ / 使用湿度範囲：20～85%（RH）（結露なきこと）		
接 続 可 能 受 信 機	・進PⅡ FAPJ/FCSJ103シリーズ（H付タイプ） ・進PⅢ FAPJ/FCSJ104S（多回線タイプ）シリーズ （進PⅢ FAPJ/FCSJ105S（少回線タイプ）シリーズには接続不可）		
主 材	鋼板（t1.2）		鋼板（パネルt1.2 本体t1.6）
仕 上 げ	焼付塗装 ノーミホホワイト（NW）マンセルN8.7 半ツヤ近似色		
質 量	約4.0kg	約7.0kg	約13.0kg

・送受信器を使用する場合は別途手配をお願いします。

NOHMI 能美防災株式会社

お問い合わせは…

本 社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL (03) 3265-0211		
支 社 / 北海道 (011) 746-6911	東 北 (022) 221-2695	新 潟 (025) 243-8121
茨 城 (029) 225-2600	千 葉 (043) 266-0303	北 関 東 (048) 642-0147
横 浜 (045) 682-4700	長 野 (026) 227-5521	静 岡 (054) 247-3211
金 沢 (076) 252-6211	大 阪 (06) 6330-8661	京 都 (075) 694-1192
中 国 (082) 510-1125	岡 山 (086) 244-4222	九 州 (092) 712-1560
宮 崎 (0985) 28-8792	鹿 児 島 (099) 253-8196	沖 縄 (098) 862-4297
営 業 所 / 旭 川 (0166) 35-7824	青 森 (017) 729-0532	盛 岡 (019) 645-0552
郡 山 (024) 947-1194	福 島 (024) 528-4195	上 越 (0255) 26-1886
渋 谷 (03) 3461-1051	杉 並 (03) 3306-0451	城 東 (03) 3626-2461
五 反 田 (03) 3779-9737	土 浦 (029) 822-3851	宇 都 宮 (028) 637-4317
埼 玉 西 (049) 247-4640	川 崎 (044) 233-5773	沼 津 (055) 923-9669
岐 阜 (058) 276-7761	三 重 (059) 226-9860	富 山 (076) 444-1450
四 国 (087) 868-6811	北 九 州 (093) 583-3344	長 崎 (095) 845-0135
大 分 (097) 543-2778		
工 場 / 三 鷹 (0422) 44-5141	メヌマ (048) 588-1531	

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更する場合があります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。